



F-wave

藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

特集：駅地下団体 PR



9～10月、今回で4回目となるパネル展示「私たちの市民活動紹介」を市民活動プラザむつあいの主催で開催しました。会場は湘南台駅地下アートスクエア。展示期間中には「トークイベント」が行われ、展示参加団体が駅地下を通る一般の市民に向けて団体PRの発表をしました。PRの仕方は団体の特色が出ており、パネルの前で内容を説明する団体もあれば、視覚障がい者の誘導支援の実演、ウクレレの演奏、ミニミュージカル、英語での発表など、バラエティに富んだトークイベントとなりました。

このパネル展示及びトークイベントは「一般市民の方々に団体PRをして団体を知っていただく」、「自分たちの活動をPRする広報力を鍛える」、「団体同士で交流する」という目的で実施しました。ご参加いただいた団体には、パネル展示前に全3回の広報講座を受講していただき、広報の実践の場としてパネルを作成、発表に挑戦していただきました。発表していただいた団体の皆さんから、参加したご感想をいただきました。

(つづく)



駅地下団体 PR



参加者の声① 藤沢市肢体不自由児者父母の会 富永良子さん
会場となる【湘南台アートスクエア】は駅構内にあり地続きにフラットなため、車いすでもスムーズに会場入りできました。トークイベントでは長男と前に出て、団体の紹介と展示について、簡単にはありましたがお話をさせていただきました。(登壇スペースへも段差等なくスムーズに移動できました)。

地域でさまざまな活動をされている団体の皆さんについて、直にその姿をお互いに見てお話をうかがったり演奏を聞いたり、とても良い経験になりました。長男は、高校生ミュージカルの皆さんやウクレレの演奏にじっくりと聞き入っていました。

これまで展示には3回参加しましたが、トークイベントは初めての参加。フリートークの時間は長男と遠巻きに会場を眺めている感じでしたが、そんな中、何組かの方にお声がけをいただきました。実際にわが家の長男のような子どもや家族の姿をみて、「この街にもいるんだなあ」と実感していただけたり、私の事はご存知でも長男とは「はじめまして」で、「今日は会えてよかった」と言っていただけたり、うれしい交流がいくつかありました。

ハンディキャップのある長男にとっても、こうして地域の活動の場に顔を出す事は得がたい経験になったのではと思いました。同時にこれが長男や私のような主たる介助者にとって「今できる社会人としての社会参加」であり、回り回って地域を耕す事につながっていくのではと手応えを感じました。

参加者の声② ウクレレの会 アパパネ 平澤亜希子さん

トークイベントはとても楽しかったです。

他の団体の外国人の方とお話したら、藤沢市民まつりでラインダンスをされていたメンバーの方だと分かったんです。私もラインダンスをやったことがあるのですが、なんと、先生が同じ人！その外国人の方から『ラインダンスの曲をウクレレで弾いてみたら？』とご提案いただきました。見えていなかった繋がりが出来たり、新しいアイデアが生まれたり、収穫の多いトークイベントでした。

インターネット上でしかお会いしたことがない方と直接お会いしてお話が出来たり、他の団体とのコラボレーションが生まれたりして楽しかった。気後れせずにもっとお話をすれば良かったです。



団体の皆さんの発表や交流する姿を見て、「団体とPR対象となる方とのつながりだけでなく、団体同士の交流が大切」だと改めて感じました。参加された団体の方が他団体の方との共通点を探したり、発表への興味や感じたことを伝えたりすることで、各自の世界を広げている雰囲気が伝わりました。

藤沢市市民活動支援施設では、市民活動団体の活動のお手伝いを行っています。12月には、藤沢市役所でのパネル展示やクリスマス交流会が開催されますので、ご参加お待ちしております。

(取材と記事作成：支援施設サポーター F-wave 班)

パネル展示「私たちの市民活動紹介」 参加団体

- ・特定非営利活動法人湘南FP相談室
- ・特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット
- ・特定非営利活動法人湘南マンション管理組合ネットワーク
- ・イルミネーション湘南台
- ・藤沢市肢体不自由児者父母の会
- ・ふわふわの会
- ・The Shonan Post
- ・でじたるガイド
- ・高校生ミュージカル Aqua
- ・藤沢市せつけん推進協議会
- ・湘南トーストマスターズクラブ
- ・ウクレレの会 アパパネ
- ・湘南とアジアの若者による未来創造事業実行委員会
- ・藤沢市誘導奉仕会サンウォーク
- ・湘南混声合唱団
- ・湘南アルゼンチンタンゴダンス同好会
- ・じゃおクラブ湘南
- ・湘南市民ワークショップ

2023年12月26日から、藤沢市役所1階ラウンジで市民活動団体のパネル展示を実施します。本情報誌が発行される頃には参加団体への説明会も終わり、制作に取り組んでいる団体もいる時期となっています。

パネル展示に際しては毎年様々な工夫をする団体が多く見られますが、今回のNPOTIPSでは配色のコツについてお伝えします。

配色比率 70：25：5 の法則

デザインの世界では3色の面積を「70%：25%：5%」の比率にすると、バランスの取れた配色になるとされています。70%の色を「ベースカラー」といい、背景・余白の色となります。25%の色を「メインカラー」といい、その名の通りデザインの中心になる色です。5%の色を「アクセントカラー」といい、使用した部分を際立たせる役割を持っています。

配色とイメージ

多様性の時代とはいえ、広報物は最大公約数的にターゲットを設定した方が効果的であるため、年齢・性別やその他の属性に応じた「望ましい配色」があります。女性を対象とした場合にはパステルカラー、男性を対象とした場合には寒色中心、シニア向けには視認性を優先したコントラストの高い配色など、ステレオタイプではありますが、届けたい層を意識することは色使いの選択肢を絞ることもつながります。

色覚障がいの方への配慮

色覚障がいの方にとって見分けにくい組み合わせの配色をしてしまうと、特に明度・彩度が近い場合にはかなり見えづらくなります。神奈川県でも「色使いのガイドラインサインマニュアル」を作っており、見分けにくい配色についても記載がありますので、広報物の制作時にはご参考になさってください。

『色使いのガイドラインサインマニュアル』
<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/28550/signpdf.pdf>

担当ひとりで広報物を作る場合、どうしても個人の好みに偏りがちです。特に色に関してはその傾向が強い方もいらっしゃると思います。制作過程で団体のメンバーやターゲットとなる属性の方にご意見を聞くことは、より効果的な広報物作りにおいて大切です。



25th Anniversary

なぜなに

NPO

vol.172

25th

Anniversary

2023年12月1日に、特定非営利活動促進法の施行から25年が経過します。市民活動推進センターやプラザむつあいの運営をしている「藤沢市民活動推進機構」も1998年12月に藤沢市市民活動推進連絡会として発足し、25年経過することとなります。NPO法人化は2001年で、特に記念のイベントはないが、藤沢市市民運動推進連絡会として、神奈川県ゆめ国体の応援市民組織として動きだした本組織が、現在も継続して動くことができていることは、関係していただいている皆様が大変感謝しております。

市民運動推進連絡会は、市民スポーツの代表的なイベントである神奈川県で実施予定の国民体育大会を応援することを目的に、1996年に藤沢市が発案した2年間の活動期間を前提とした組織でした。当時、藤沢市は、市民集会や市民電子会議室の実験的運用も始まっており、市民の自主的な活動やエンパワメントを進めている気風がありました。市民運動推進連絡会の活動は、チームワークと笑顔にあふれ、市内各地から集まった3,000人を超える市民との共同作業は、とても楽しいボランティア活動でした。

解散が決まり、最後の宿泊研修で、グランドワーク三島による「市内の緑化推進活動」と「梅花藻の保全活動」の視察は大変印象深いものとなりました。このまま解散して良いものかどうか熟慮した結果、新しい組織として改めて発足する方向となり、解散の年の初めにNPO法が成立し、

解散時にNPO法の施行が重なったこともあり、「市民活動推進連絡会」と名称を変更しました。

当時藤沢でも、NPO法の制定時の議論となっていた「市民活動」という言葉に馴染みはなく、「市民」という言葉も藤沢市民を表す言葉として使われていたこともあり、多少の抵抗もありましたが、「NPO法」の第一条に、「ボランティア活動をはじめとする市民の自由な社会貢献活動としての特定非営利活動の健全な発展を促進すること」と、「市民」という言葉がしっかりと存在することを受け、名称の変更に会長が積極的に動いたこともあり、変更を決めました。組織として、以後、市民活動についての自主勉強会を先駆的に動かれていた有識者を迎えるなどして、会長宅で、幾度となく開催し、「県民活動サポートセンター」の支援活動の視察も実施し、市民活動団体の支援を活動の中心にすることとなりました。

現在、藤沢市市民活動支援施設の運営のみならず、個人のボランティア活動や社会貢献活動のマッチング支援や農業・水産業と福祉活動の連携支援、仮想空間を活用した障がい者の皆様の生涯学習支援など、まちづくりの一環で活動の領域を拡げつつあり、活動のアイデアは次々と生まれてきています。組織の次の一步を踏み出すタイミングが、「NPO法」の周年次期と重なるのは偶然とはいえ、身の引き締まる思いで迎えています。(て)

講座・イベントの

ごあんない

イベント

日時

■プラザ de カフェ ～身近な SDGs ～引地川でつながる私たち	11月25日(土) 10:00～11:30
■令和5年度ミライカナエル活動サポート事業中間報告会	11月25日(土) 13:00～16:45
■IT講座「らくらく PowerPoint 講座」	12月11日・18日(月) 13:30～16:00
■市民活動パネル展示	2023年12月26日～2024年1月14日
■ワカモノ×地域 クリスマス交流会	12月3日(日) 15:00～16:30

NEW!

支援施設からのお知らせ

■プラザ de カフェ ～身近な SDGs ～引地川でつながる私たち

引地川は隣の大和市を源流とし藤沢市に入り、鶴沼海岸から相模湾にそそぐ全長約21キロの私たちにとって身近な川です。今回は大和市の源流から下流の鶴沼地区で活動される方々の活動紹介を行います。

日時：2023年11月25日(土) 10:00～11:30

会場：六会公民館2階 第1談話室

料金：無料 定員：30名

講師：柳とあそぼう引地川、鶴沼郷土資料展示室

主催：市民活動プラザむつあい



■令和5年度ミライカナエル活動サポート事業中間報告会

令和5年度にミライカナエル活動サポート事業を実施している市民活動団体等から、中間期における事業経過を報告してもらい、藤沢市市民活動推進委員会委員と意見交換を行います。傍聴を希望される方は、期限までに市民自治推進課へ①お名前②電話番号③Eメールアドレスをご連絡ください。

申込期限：2023年11月17日(金) 午後5時

日時：2023年11月25日(土) 13:00～16:45

会場：藤沢市役所 本庁舎5階 5-1会議室

定員：10名

主催：藤沢市市民自治推進課

TEL：0466-50-3516

FAX：0466-50-8407

Eメール：fj1-jiti-s2@city.fujisawa.lg.jp



■IT講座「らくらく PowerPoint 講座」

プレゼンテーションのコツ・使い方、プレゼンテーション実践について学べる入門講座です。所属組織の紹介やプレゼンテーション資料づくり、組織の魅力を伝え共感を得るための手法を学びましょう！

日時：2023年12月11日・18日(月) 13:30～16:00

会場：市民活動推進センター会議室

料金：2,000円 定員：10名

対象：NPO・市民活動・地域活動に関わっている方

主催：藤沢市市民活動推進センター



■市民活動パネル展示

市民活動団体の活動を広く一般市民の皆さまに知っていただきたく、市役所1階ラウンジにてパネル展示を2023年12月～2024年1月に行います。お近くにお立ち寄りの際はぜひご覧ください。

展示期間：2023年12月26日～2024年1月14日

会場：藤沢市役所1階ラウンジ



■ワカモノ×地域 クリスマス交流会

ワカモノたちと地域と一緒に考える。講演テーマは「北欧の選挙小屋フェスティバル」。学生の講演と交流会。地域で活動している学生の団体と交流できる機会です。

日時：12月3日(日) 15:00～16:30

会場：藤沢市市民活動推進センター

料金：無料 定員：40名

講演：慶應義塾大学総合政策学部4年 佐々木悠翔氏

主催：藤沢市市民活動推進センター

市民活動プラザむつあい

発行：藤沢市市民活動支援施設

本館：市民活動推進センター

開館時間 9:00～22:00 火曜休館

※日・祝は9:00～20:00

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢2F

TEL：0466-54-4510 FAX：0466-54-4516

Eメール：f-npoc@shonanfujisawa.com



分館：市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00～17:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階

TEL&FAX：0466-81-0222

Eメール：f-npoplaza@shonanfujisawa.com

編集：認定NPO法人 藤沢市市民活動推進機構（藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体）

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております！
サポーターも随時募集中です！